

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、3年生が夏休みに向けて、学習の優先順位を見極めるための「弱点克服シート」について検討する。

7月末までの学習計画シート

| 自分の弱点(3つ) | 弱点克服のための計画 | |
|-----------|------------|----------|
| | 具体的な教材名 | いつまでにやるか |
| | | |
| | | |
| | | |

Before

高知県・私立土佐塾中学・高校
藤澤佑介先生提供

「3年生 夏休み前
弱点克服シート」

課題

- 1 多忙感や焦りなどから、何を優先的に学習すればよいか分からなくなってきた夏休み前の3年生に、今すべきことを整理させたい
- 2 担当教科以外についても、学習面で課題を抱える生徒を見つけ、担任が適切にアドバイスできる仕組みをつくりたい

検討メンバー



ツール提供者

高知県・私立
土佐塾中学・高校
藤澤佑介
ふじさわ・ゆうすけ



東京都立
青山高校
鎌田邦広
かまだ・くにひろ



長野県
屋代高校・
附属中学校
宇都宮 仁
うつのみや・じん

生徒、教師双方にとって
負担の少ないシートを目指す

3年生の担任を務めた際、すべきことが多く、空回りがちなこの時期の生徒が、学習の優先順位を整理し、夏休みに向けた学習習慣の確立につなげられるようにしたいと考え、この弱点克服のための学習計画シートを活用してきた藤澤先生。シートに書かれた内容を基に、個人面談を実施し、学習法をアドバイスしていた。記入の負担が大きくならないようにシンプルな書式としたが、生徒が記入する内容がまちまちだったこと、また、藤澤先生の担当教科である英語以外の学習法は、都度、教科担当の教師に藤澤先生が確認したため指導に時間がかかったことなど、改善の余地があると感じていた。

After

改良ポイント

1 教師からのアドバイスを基に、自己評価させる

教師からのアドバイスを指標に、現時点までの学習状況を生徒自身に「できたこと」「できなかったこと」の視点で振り返らせる。担任は、担当以外の教科で課題を抱える生徒を見つけやすくなる。

2 現時点までの成果と課題から優先順位を明確にさせる

教科バランスを意識させながらも、最も力を入れるべきことを明確にさせるため、現時点までの学習状況の振り返りを基に、教材名、強化する単元や分野、学習の優先順位を生徒自身に決めさせる。



弱点克服シート

- A すべきことを理解し、順調に学習を進めている
- B すべきことを理解し、学習に取り組み始めたところ
- C すべきことが分からない

| | この時期に取り組みたい学習 (教師が記入) | 現時点までの振り返り | | | 8月末までの展望 | |
|-------|--------------------------|-------------|--------------------|------------------------|-----------------------------|------|
| | | 今の学習状況の自己評価 | すべきことのうち、しっかりできたこと | すべきことのうち、思い通りにできなかったこと | どの教材を使って、何を勉強するか(どんな力を伸ばすか) | 優先順位 |
| 国語 | | A・B・C | | | | |
| 地歴・公民 | | A・B・C | | | | |
| 数学 | | A・B・C | | | | |
| 理科 | | A・B・C | | | | |
| 英語 | | A・B・C | | | | |

左記を踏まえての8月末までの学習のポイント

現時点までの成果と課題からすべきことをあぶり出す

教科バランスを考慮した、偏りのない学習を意識できるように、入試で必要となる教科について記述欄を用意した。また、各教科担当の教師が「この時期に取り組みたい学習」を述べたものを記載することで、生徒が、今どのような状態なのかを自己評価する指標とする案が出された。そして、各教科において、学習状況の自己評価を基に、現時点までの成果と課題を振り返ることとで、「夏休みに向けて取り組むべきことは何か」「どの教材を使って強化するのか」を生徒自身が明らかにすることとした。なお、このシートの位置づけは、これまで同様、記載事項を基にした面談を行って完結するものとした。

次ページでは、
3人の先生方の
検討の様子を
ダイジェストで紹介!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<http://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

3年生 夏休み前 弱点克服シート



活用の流れ

- 1 あらかじめ、各教科担当の教師から学習アドバイスを収集し、まとめる
- 2 シートを配布。生徒は、現時点までの学習状況と成果、課題を自己評価
- 3 優先的に取り組む教科や教材、強化したいことを可視化する
- 4 シートの内容を基に面談を実施し、夏休みに向けた態勢づくりを行う

すべきことの中から
優先順位を明確化

受験の天王山である夏休みを有意義に過ごすためにも、夏休み前に自分の学習状況を確認しながら、たくさんのおすべきことの中から優先順位を自分で明確にすることは、いずれの学校においても重要であるとの認識で一致した。その上で「学校行事や部活動、日々の学習で忙しい生徒に負担はかけないものにしたがいたい」「計画通りにやれなかった時にそのこと自体に悩んでしまうことがないようにすべき」「書かせること以上に、面談で担任と語り合うことが重要」といった認識から、あれこれと詳細に書かせることなく、優先すべき事

項が明らかになるような書式とするこ
とになった。

生徒が自分の学習状況を把握し、優先順位を見極められるように、また担任が担当教科以外のアドバイスをしやすいように、各教科担当の教師から「この時期に取り組みたい学習」に関するコメントをもらうという提案があった。情報の受け手である生徒へのメリットはもちろん、学年団の教科間コミュニケーションの活性化や指導力の底上げも期待できるだろう。

そのほか、各学校の状況に応じて、第1志望校を宣言させたり、保護者からのコメント欄を設けたりしてもよいという意見が出された。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、
ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

「やらなくてもよいこと」を見極める手助けを

高知県・私立土佐塾中学・高校 藤澤佑介 ふじさわ・ゆうすけ



3年生といえども、この時期、自分の状況とすべきことを客観的に捉えるのは簡単ではありません。本校の3年生の多くは、7月には

学校行事も一段落し、気持ちの面では受験生への切り替えは済んでいます。自分が決めた学習の優先順位に「本当にこれでいいのか」と不安を感じ、やらなくてもよいことにまで手を出している生徒が少なくありません。ですから、生徒が自分を振り返り、軌道修正する機会として、このシートを活用した面談は重要な指導だと位置づけています。夏休みを前に、少し息切れし始めている生徒が、面談を通して「優先順位のつけ方」をこの時期に学ぶことは、夏休みの過ごし方をよりよいものにするはずですよ。

懸案だった自分の担当以外の教科のアドバイスについては、事前に各教科担当の教師からの「この時期の学習法と教材」などを別紙にまとめて、このシートと一緒に配布するのがよいと思いました。担当以外の教科の学習指導では教師の経験も問われませんので、別紙にまとめることで、経験の浅い教師のよりどころになると思います。

藤澤先生プロフィール 教職歴11年。同校に赴任して11年目。英語科教科部長。「教師が伸びれば生徒も伸びる。チャレンジする姿勢を忘れない」学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約2000人/2017年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東北大、名古屋大、京都大、神戸大などに61人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ349人が合格。

学校行事に燃える生徒にマネジメント力を育む

東京都立青山高校 鎌田邦広 かまだ・くにひろ



本校は、8月末には文化祭があり、3年生は舞台づくりに取り組みます。校外から8000人の観客が訪れるイベントで、この舞台のために本校を志望した生徒もいます。私たちも文化祭をやり抜くことで受験生に切り替わるのだと見守っていますが、最低限すべきことを整理する自己管理能力も生徒には不可欠です。夏休み前には、受験生としての学習法の模索は済ませておく必要があります。学習に対する不安や悩みは、生徒自身が克服するものですから、このシートのように、自分の取り組んでいることを気軽に書くことができるツールを使って、面談で教師とともに整理することが大切です。

各教科担当の教師からこの時期の学習法をまとめる際、私なら、自分が聞き取ります。3年生の担任として教科担当の教師と生徒像をすり合わせながら書く方が、より生徒の実態に合った学習法が紹介できそうです。文系の先生に理数科目をどう克服したのかなど、あえて違う教科の先生に聞き取りしてもよいですね。

鎌田先生プロフィール 教職歴30年。同校に赴任して5年目。進路部。数学科。「目いっぱいやり切った!」そんな最高の笑顔で卒業してもらいたい。

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約280人/2017年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、東京大、東京工業大、一橋大、京大などに58人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、中央大、早稲田大などに延べ483人が合格。

保護者との連携を促進する機能も盛り込みたい

長野県屋代高校・附属中学校 宇都宮 仁 うつのみや・じん



本校の3年生もこの時期は文化祭、高校総体で忙しく、夏休みに向けて日々をどう過ごすかは重要なテーマです。多忙中でも二兎、三兎を追うことで、社会に出て生かせる力に身をつけることができると生徒には伝えたいです。また、生徒を支える私たち教師は、生徒に詳細な計画は求めません。計画通りにいかずに苦しみよりも、何をやったかを振り返り、自信を持つことが重要です。ですから、学習状況を簡単に確認できるようにしたのはよいと思います。このシートと一緒に、各教科担当からの学習アドバイスを配布するのなら、既に学年通信などで発信している内容をまとめると、それほど負担なくアドバイスを作成できるでしょう。

本校でこのシートを活用する場合、保護者が担任への相談を書ける欄を設けるなど、「家庭との連携」の工夫を行いたいです。既に運用している保護者懇談用シートと併せて使い、子どもの状況や決意が分かるシートに保護者が目を通すことで、学校と一緒に子どもを支えるチーム化が進みそうです。

宇都宮先生プロフィール 教職歴27年。同校に赴任して7年目。キャリア教育係主任。国語科。「生徒の『直観』と『情熱』を育てていきたい」

学校プロフィール 全日制/普通科・理数科/共学/1学年約280人/2017年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、北海道大、東京工業大、名古屋大、京大などに114人が合格。私立大は、中央大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ279人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材を検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒様の情報が削除されているかご確認をお願いいたします

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。